



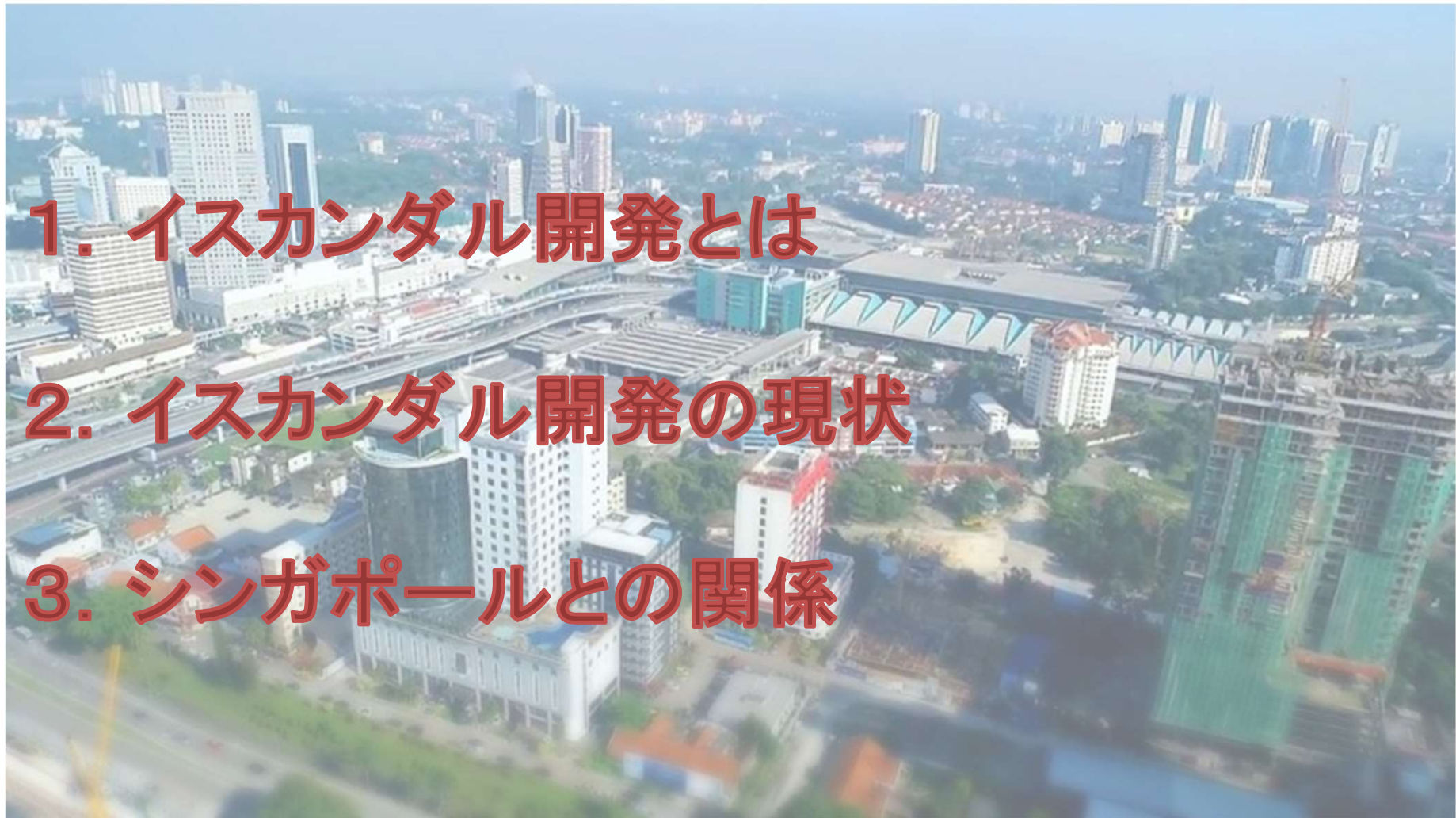
The Japan Council of Local Authorities for  
International Relations, Singapore

# イスカンダル開発の概要

---

2020年2月

一般財団法人自治体国際化協会 シンガポール事務所



1. イスカンダル開発とは

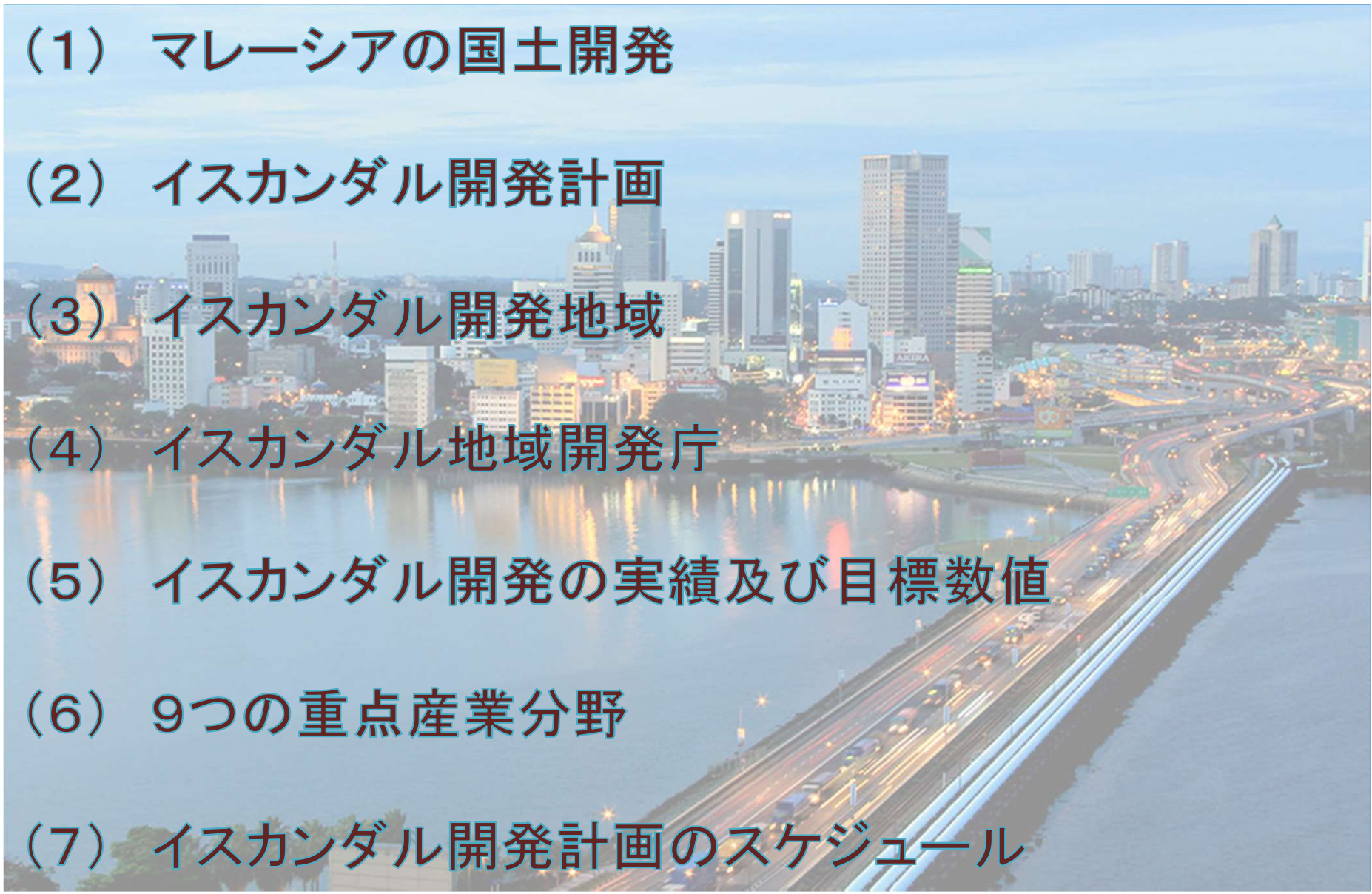
2. イスカンダル開発の現状

3. シンガポールとの関係

# 1. イスカンダル開発とは



The Japan Council of Local Authorities for  
International Relations, Singapore

- 
- A wide-angle, nighttime photograph of a modern cityscape, likely Iskandar Malaysia. The scene is dominated by a large, multi-lane highway bridge crossing a body of water. The city skyline in the background is illuminated with various lights, including tall skyscrapers and residential buildings. The sky is a deep blue, suggesting dusk or dawn. The overall atmosphere is one of a bustling, developed urban area.
- (1) マレーシアの国土開発
  - (2) イスカンダル開発計画
  - (3) イスカンダル開発地域
  - (4) イスカンダル地域開発庁
  - (5) イスカンダル開発の実績及び目標数値
  - (6) 9つの重点産業分野
  - (7) イスカンダル開発計画のスケジュール

# 1. イスカンダル開発とは



## (1) マレーシアの国土開発

○第9次マレーシア計画（2006-2010）において、自由貿易や事業優遇措置による企業誘致等促進のため、5つの大型経済開発地域を指定

① イスカンダル開発地域（Iskandar Development Region:IDR）

② 北部回廊経済地域（Northern Corridor Economic Region:NCER）

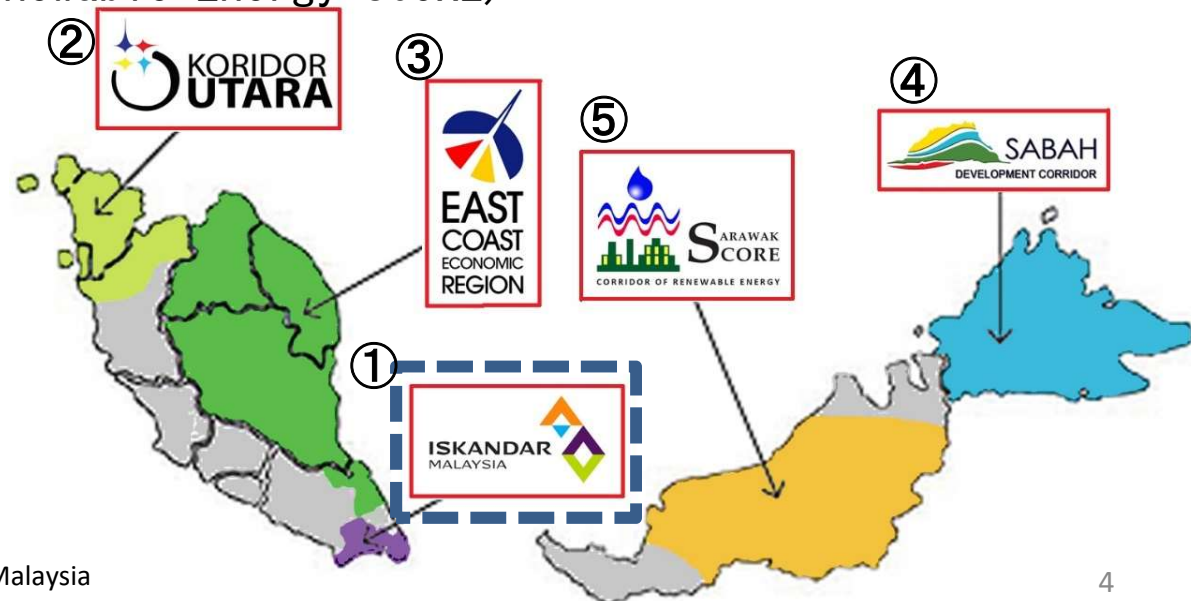
③ 東海岸経済地域（East Coast Economic Region:ECER）

④ サバ開発回廊（Sabah Development Corridor:SDC）

⑤ サラクワ再生可能エネルギー回廊

（Sarawak Corridor Renewable Energy:SCORE）

○背景には、マレーシアの  
地域格差の拡大



# 1. イスカンダル開発とは



## (2) イスカンダル開発計画

- 2006年11月に、アブドラ首相(当時)が発表
- 2009年からはナジブ首相(当時)が計画を引き続き推進
- 計画の名前は当時のジョホール州のスルタン(在位:1981年-2010年)でマレーシア国王も務めたイスカンダル王に由来
- 政府機関『イスカンダル地域開発庁(Iskandar Regional Development Authority:IRDA)』が計画を主導
- イスカンダル開発における5つの基本方針
  - ①地理的な利点を生かした開発
  - ②教育を通じた人的資源の育成
  - ③周辺地域にも配慮した、バランスのとれた開発
  - ④公共交通機関やレクリエーション施設の整備・開発に
  - ⑤計画の円滑な実行
- 電気・電子など既存の産業だけでなく医療・教育など新たな産業育成による雇用創出、居住区や観光資源の整備 → 総合型の開発計画
- 2014年に「イスカンダル総合開発計画2014-2015」が策定された。  
同地域の持続的な発展を図るために、既存産業に加わり、新たに環境に優しい経済、循環型経済等の分野の振興を目標に設定している。



アブドラ・バダウィ元首相

# 1. イスカンダル開発とは



## (3) イスカンダル開発地域

- マレー半島の南端ジョホール州に位置
- 州都はジョホール・バル

第9次マレーシア計画においてマレー半島南部の地域開発拠点として設定

- イスカンダル開発地域の面積は約2,217km<sup>2</sup>（シンガポールの面積の約3倍）
- 東南アジアのほぼ中心に位置し、シンガポールと近接
- 土地と労働力が比較的容易に調達可能
- シンガポールと同一の経済圏での発達が期待



# 1. イスカンダル開発とは



The Japan Council of Local Authorities for  
International Relations, Singapore

## (4) イスカンダル地域開発庁

### IRDA (Iskandar Regional Development Authority)

○イスカンダル開発を推進するための総合調整を行う政府機関として2007年に設立

#### 【IRDAのビジョン】

投資、仕事、生活、エンタテインメント全ての分野において最初の選択肢となる『イスカンダル・マレーシア』の創造

#### 【IRDAの役割】

##### 計画

- ・ 社会計画、経済計画の策定
- ・ 法整備、行動計画、投資誘因策等の政策提言

##### 広報

- ・ 投資先としての『イスカンダル』のブランド作り
- ・ 投資家への広報周知

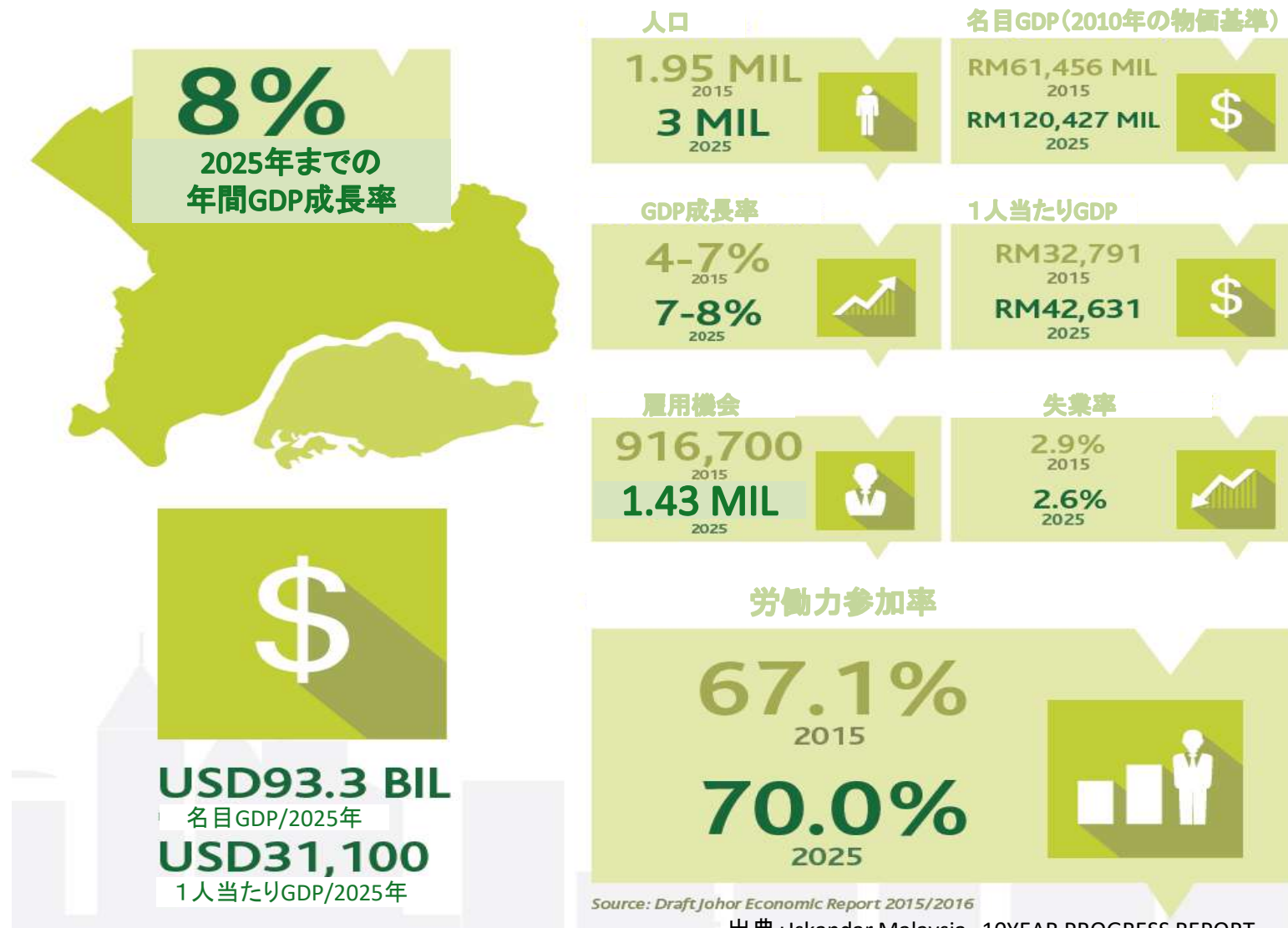
##### 調整

- ・ 発展状況の確認と最適化
- ・ 許認可に係る最初の窓口機能

# 1. イスカンダル開発とは



## (5) イスカンダル開発の実績及び目標数値

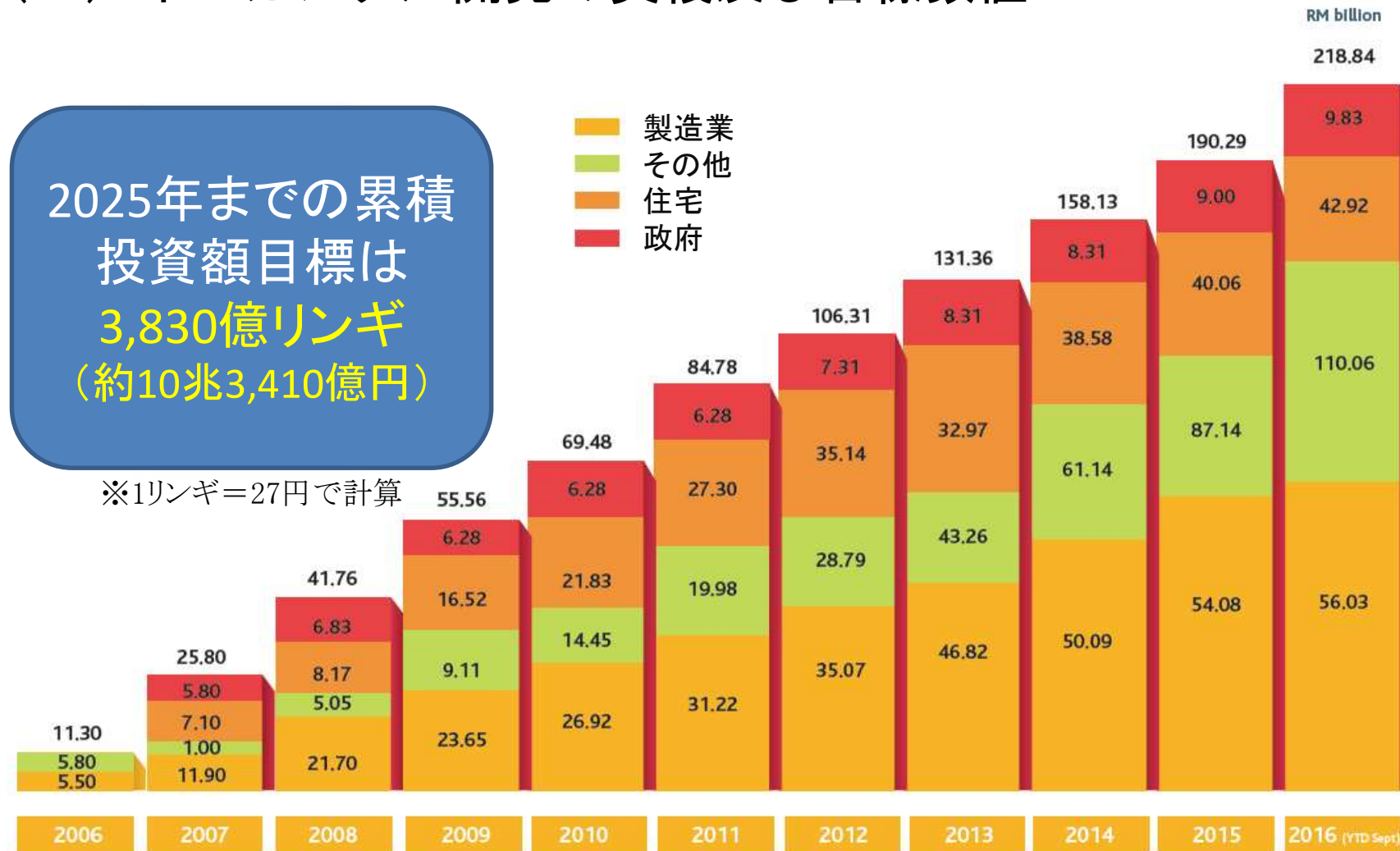




# 1. イスカンダル開発とは



## (5) イスカンダル開発の実績及び目標数値



# 1. イスカンダル開発とは



The Japan Council of Local Authorities for International Relations, Singapore

## (6) 9つの重点産業分野

### サービス産業

金融



観光



教育



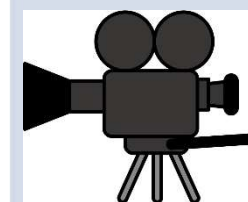
物流



医療



クリエイティブ



### 製造業

電気・電子



油脂・石油化学



食品・農産物加工



※「イスカンダル総合開発計画」によると、これら9つの重点産業分野における環境に優しい技術の開発・応用が期待される。

# 1. イスカンダル開発とは



The Japan Council of Local Authorities for  
International Relations, Singapore

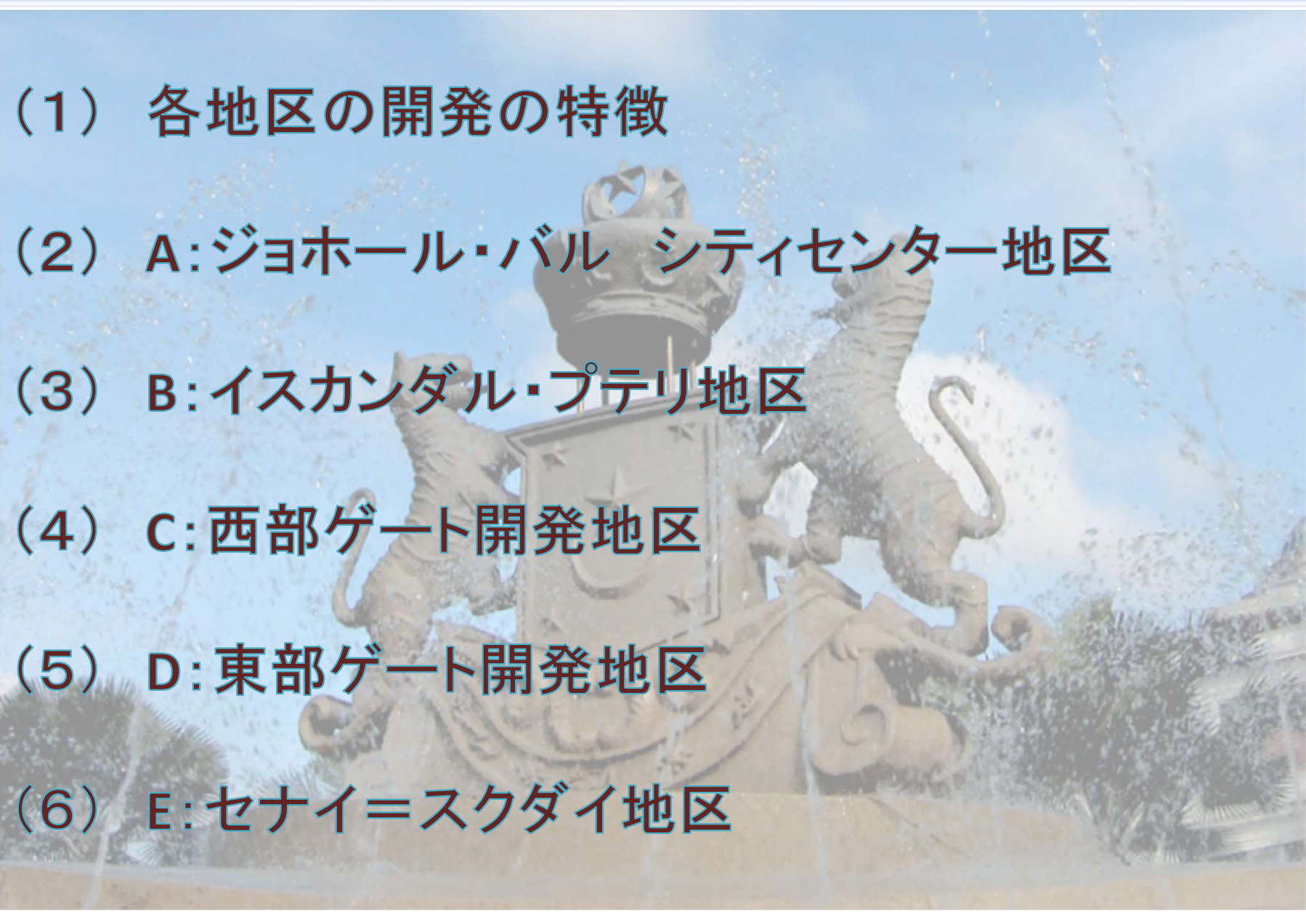
## (7) イスカンダル開発計画のスケジュール

開発段階	期間	重点的開発課題	主要プロジェクト
フェーズ 1	2007年 ～ 2010年	計画と基盤づくり	2009年:コタ・イスカンダル 2009年:イスカンダルバスサービス開始 など
フェーズ 2	2011年 ～ 2015年	強化と成長	2011年:各種高速道路 2015年:ジョホール・バルーシンガポール間 のシャトル電車 など
フェーズ 3	2016年 ～ 2025年	維持と改善	<u>BRT(高速バス輸送)システム、労働人材 の育成、環境保全、住宅支援などに注力</u>

## 2. イスカンダル開発の現状



The Japan Council of Local Authorities for  
International Relations, Singapore

- 
- A background image of a fountain with a central lion sculpture. The lion is standing on a pedestal, facing right, with its mouth open as if roaring. Water is spraying upwards from the fountain. The background is a clear blue sky with some light clouds.
- (1) 各地区の開発の特徴
  - (2) A: ジョホール・バル シティセンター地区
  - (3) B: イスカンダル・プテリ地区
  - (4) C: 西部ゲート開発地区
  - (5) D: 東部ゲート開発地区
  - (6) E: セナイ＝スクダイ地区

## 2. イスカンダル開発の現状



### (1) 各地区の開発の特徴

**A** ジョホール・バル  
シティセンター地区  
ジョホール州の州都、金融機関などのビジネス地区  
※コーズウェイ橋でシンガポールと連結

**B** イスカンダル・プテリ地区  
海外大学の誘致、テーマパークや医療観光などサービス産業、州政府機能

**C** 西部ゲート開発地区  
物流拠点、自由貿易区域  
石油備蓄港  
※セカンドリンクでシンガポールと連結

**D** 東部ゲート開発地区  
電気・化学・油脂化学製品の製造  
石油化学備蓄港

**E** セナイ＝スクダイ地区  
物流拠点、ハイテク産業・宇宙関連産業、商業施設、サイバーシティ



## 2. イスカンダル開発の現状



The Japan Council of Local Authorities for  
International Relations, Singapore

### (2)A: ジョホール・バル シティセンター地区

- ジョホール州都（マレーシア第二の都市）
- コースウェイ橋によりシンガポールと連結
- 既存の文化的施設や建物を残しつつ、公園や川の整備により緑豊かな街づくりを目指す
- ウォーターフロント地区を金融・経済・商業の中心地として開発



【シンガポール側から見たコースウェイ橋及び  
ジョホール・バル市街地区の様子】



【スルタン・アブ・バガール・モスク】

## 2. イスカンダル開発の現状



The Japan Council of Local Authorities for  
International Relations, Singapore

### (3)B: イスカンダル・プテリ地区

- イスカンダル開発計画の中核となる地区
- ジョホール州政府が移転し、2009年に正式稼働
- 州政府新庁舎は観光名所【コタ・イスカンダル】
- アブラヤシ畑を切り開いて開発
- 教育・観光・医療などの分野の産業を誘致



【コタ・イスカンダル】

## 2. イスカンダル開発の現状



### (3) B: イスカンダル・プテリ地区

#### ★教育関連プロジェクト「Edu City」

- イスカンダル・プテリ地区内に大学、高等教育機関、スポーツ設備、学生寮を海外から誘致
- 医薬、工学、ICT、経営など各大学が強みのある教育分野でけん引役となり地域の教育ハブとして機能



主な海外の大学	開校年度
(蘭)海運技術大学	2011年
(英)ニューキャッスル大学	2011年
(星)ラッフルズ大学	2012年
(英)サウサンプトン大学	2013年

#### 【その他】

- マルボロカレッジ(5歳～18歳)



## 2. イスカンダル開発の現状



The Japan Council of Local Authorities for  
International Relations, Singapore

### (3) B: イスカンダル・プテリ地区

#### ★レジャー・宿泊関連プロジェクト

- ハローキティタウンの開業（2012年）  
→2019年12月末で閉園
- レゴランドの開業（2013年）
- トレーダーズホテルの開業（2013年）
- 医療観光の推進



【トレーダーズホテル】



【レゴランド】

## 2. イスカンダル開発の現状



The Japan Council of Local Authorities for  
International Relations, Singapore

### (3) B: イスカンダル・プテリ地区

#### ★医療関連プロジェクト 「ヘルスパーク地区」及び「メディニ地区」

- ヘルスパーク地区にアメリカ資本の病院である「コロンビア・アジアホスピタル」を開院 (2010年)
- メディニ地区ではアジア医療の中心となることを目指す「健康都市開発構想」を推進 (マレーシア・シンガポール両国共同の合弁会社を設立)  
アジア最大手の民間医療企業が運営する総合病院「グレンイーグルス・メディニ・ホスピタル」を開院 (2015年)



【コロンビア・アジアホスピタル】



【グレンイーグルス・メディニ・ホスピタル】

## 2. イスカンダル開発の現状



The Japan Council of Local Authorities for  
International Relations, Singapore

### (3) B: イスカンダル・プテリ地区

#### ★産業地区開発プロジェクト

- 工業団地 ヌサジャヤテックパーク  
電子機器、精密機器などの産業を誘致
- 工業団地 南部産業・物流クラスターズ  
(Southern Industrial and Logistics Clusters: SiLC)  
バイオテクノロジー産業を誘致



【ヌサジャヤテックパーク】



【南部産業・物流クラスターズ】

## 2. イスカンダル開発の現状



The Japan Council of Local Authorities for  
International Relations, Singapore

### (3) B: イスカンダル・プテリ地区

#### ★クリエイティブ産業関連プロジェクト

○パインウッドスタジオ・イスカンダル・マレーシア (PIMS) の開所 (2014年)

(総合的な映像制作施設としてアジア最大規模)

→2019年を持って「パインウッドスタジオ」は撤退。現在、スタジオは「イスカンダル・

マレーシア・スタジオ(IskandarMalaysiaStudios)」に名称変更された。

○日本の映像編集企業の最大手「IMAGICA」が

IskandarMalaysiaStudios内に事務所を設置 (2014年)



【イスカンダル・マレーシア・スタジオ】



## 2. イスカンダル開発の現状



### (4) C: 西部ゲート開発地区

- コンテナの積み替えハブ港となることを目指し、2000年に開港。
- シンガポールと同等の地理的優位性、シンガポール港より安価な使用料。
- 世界第1位のコンテナ取扱量を誇るマースク社が積み替えハブ港をシンガポール港からタンジュン・ペラパス港に移す。
- 取引に関税のかからない自由貿易区域には、世界各国40社以上から270億リンギ（約7,290億円）の投資があり、1万5千人以上の雇用を創出。 ※1リンギ=27円で計算
- タンジュン・ペラパス港概要
  - ・総面積：1,800ha
  - ・岸壁延長：約5 km
  - ・最大水深：19m
  - ・コンテナバース数：14か所
  - ・コンテナ用クレーン数：58基
  - ・貨物取扱能力：1,250万TEU
  - ・コンテナ取扱量（2017年）：838万TEU（東南アジア第3位）



【出典：タンジュン・ペラパス港ホームページ、国際協力銀行資料】

【タンジュン・ペラパス港】

## 2. イスカンダル開発の現状



The Japan Council of Local Authorities for  
International Relations, Singapore

### (5) D: 東部ゲート開発地区

- 石油化学等、重化学工業の集積エリア
- 電気・電子、化学等、製造業の誘致
- パシル・グダン工業団地、タンジュン・ランサット工業団地が整備されており、出光石油、日立化成等が進出
- パシル・グダン港を擁する
- パシル・グダン港からシンガポール・チャンギへのフェリー運航を検討中



【パシル・グダン工業団地】



【パシル・グダン港】

## 2. イスカンダル開発の現状



The Japan Council of Local Authorities for  
International Relations, Singapore

### (6) E: セナイ=スクダイ地区

- セナイ国際空港  
→国内線及び国際線が運航  
(バンコク、ホーチミン、スラバヤ等)
- ハイテク産業の誘致
- マレーシア工科大学 (1985年)
- プレミアムアウトレット開業 (2012年)



【セナイ空港】



【アウトレットモール】

### 3. シンガポールとの関係



The Japan Council of Local Authorities for  
International Relations, Singapore

- 
- (1) マレーシア・シンガポール政府間の連携
  - (2) シンガポール企業の進出及び  
シンガポールからの投資
  - (3) ジョホール・バル～シンガポール 都市鉄道(RTS)
  - (4) クアラルンプール～シンガポール 高速鉄道(HSR)



### 3. シンガポールとの関係



#### (1) マレーシア・シンガポール政府間の連携

- 2007年：両国がイスカンダル開発計画推進のため、合同閣僚委員会(JMC)を設立。
- 2010年：マレーシア国営マレー鉄道（KTM）がシンガポールに所有する土地をめぐる懸案が最終決着。以降、両国間の連携は更に加速。
- 2012年：産業分野の提携促進を図る作業部会を新たに設立
- 2013年：
  - ・両国資本の健康都市開発
  - ・クアラルンプール-シンガポール間的高速鉄道（High Speed Rail : HSR）の建設合意（正式合意は2016年）
- 2015年：両国間を結ぶシャトル電車が開通。
- 2018年：ジョホール・バル-シンガポール間の都市鉄道（Rapid Transit System : RTS）の協定を締結
- 2018年9月：高速鉄道（HSR）建設計画の延期に両国が同意
- 2019年5月：債務削減を目指すマレーシア政府からの申し出により都市鉄道の着工を延期（その後さらに1ヵ月延長）することで両国が合意
- 2019年10月：マレーシア政府は事業費を圧縮し都市鉄道の事業再開を発表

### 3. シンガポールとの関係



#### (2) シンガポール企業の進出及びシンガポールからの投資

##### ○シンガポール企業のイスカンダル開発地域への進出

シンガポール政府系投資会社テマセク・ホールディングス、シンガポール最大の証券会社UOBケイヒアン、シンガポール政府系不動産会社キャピタランドなども進出

##### ○シンガポールからイスカンダル開発地域への投資

海外からの投資が全体の投資の約40%で、シンガポールは中国に次ぐ投資国  
投資額の75%は製造業関連、教育及び医療分野へ向けられている

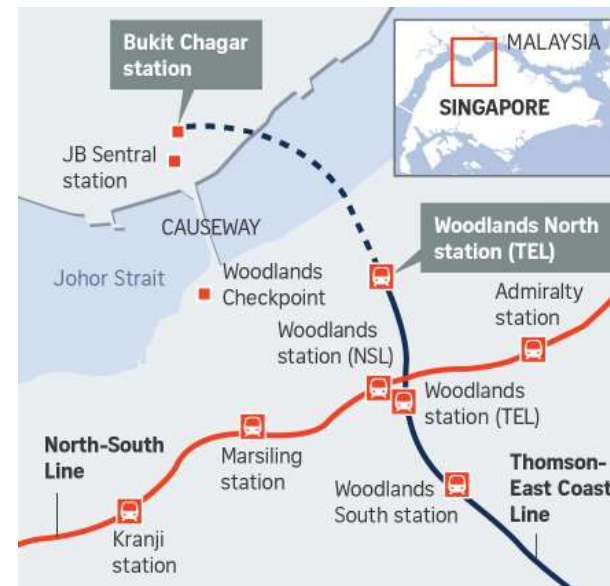
#### ★★シンガポール政府の見解★★

2012年、ターマン・シンガポール副首相は、土地や労働力が不足するシンガポールにとってイスカンダル地域が活用できるという見解を示し、シンガポール経済開発庁（Economic Development Board: EDB）がシンガポール国内に拠点を置く外資系企業に対して、イスカンダル地域を利用することを推奨する方針を打ち出している。

## 4. シンガポールとの関係

### (3) ジョホール・バル～シンガポール 都市鉄道(RTS)

- ジョホール・バル～シンガポール間約 4 kmを結ぶ計画
- 2024年開業予定（※困難とみられている）
- 出入国手続きを同時に1ヶ所で済ませるワンストップ方式を採用
- シンガポールの駅はウッドランズ・ノース駅に設置（2020年1月31日に開業）

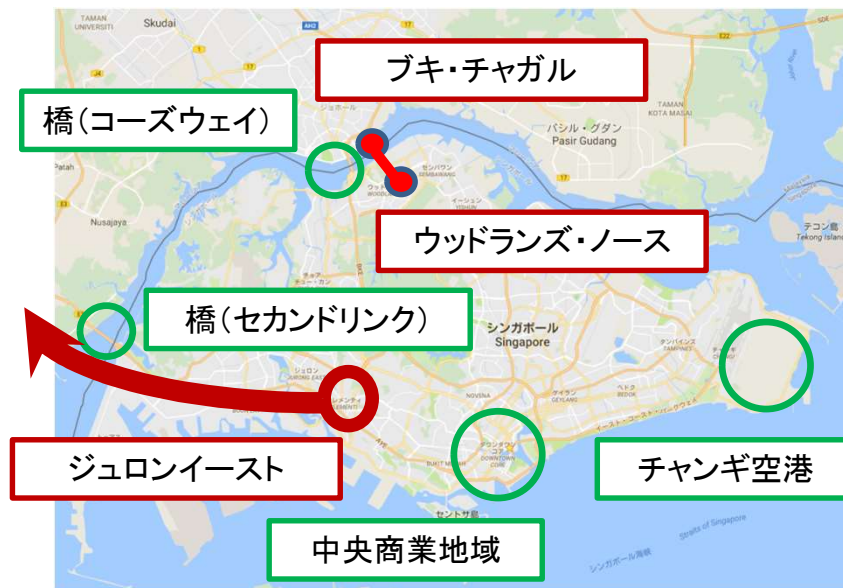


(出典: Straits times)

### 3. シンガポールとの関係

#### (4) クアラルンプール～シンガポール 高速鉄道(HSR)

- クアラルンプール～シンガポール間約350kmを90分程度で結ぶ計画
- 出入国手続きを同時に1ヶ所で済ませるワンストップ方式を採用
- シンガポールの駅はジュロンイーストに設置予定
- マレーシアの政権交代により、開業予定が2026年から2031年に変更



(出典: MyHSR Corporation Website)